



「工房まる」とは…

1997年に開設した障害者施設。様々な障害のある人の生活支援やケアはもとより、絵画や陶芸など創作活動を軸に、その人の個性が活かされる表現方法を、様々な手段や工夫をもとに具現化していく活動を行っている。対話や経験を繰り返すための「時間」、人が集い、それぞれの可能性を広げられる「空間」、想いを共有し刺激しあえる「仲間」。これら3つの「間」づくりをコンセプトとし、障害のある人ももとより、この社会で生きる私たち一人ひとりが、社会から孤立することなく、より多くの自分の生き方を自由に選択でき、自分らしく生きていける豊かな社会の実現を目指している。



- ① 松永大樹 Hiroki Matsunaga
《ボケットを手にかっつけてる》2005年
- ② 中牟田健児 Kenji Nakamura
《メスライオン》2007年
- ③ 柳田烈伸 Takenobu Yanagita
《バスキアとピストル》2008年
- ④ 太田宏介 Kosuke Ota
《ブルムラキューエンス》2009年
- ⑤ 大塚直幸 Naoyuki Omine
《バイオリンを弾く男が女を抱く》2010年



工房まる作品展 まる。てん

会期中のイベント

11月20日(日)14:00～

場所 ホームギャラリー

出品作家によるライブペインティング

出来上がった作品はGIIIに展示します。

12月4日(日)14:00～

場所 ホームギャラリー

「maruで描くこと+maruが描くもの」

工房まるのスタッフとメンバーに
工房まるでの活動について語っていただきます。

福岡にある福祉作業所工房まるでは、「その人らしさ」が表れてくることを「自立」と考え、絵画や陶芸などの様々な創作活動を行っています。障害のある人の表現を、収入を得ることができる「しごと」として創出するという活動は、アートの持つ可能性を感じさせ、観る人の創造力を刺激します。

現在工房で創作活動を行っているメンバーは34名。今回は太田宏介、大塚直幸、中牟田健児、松永大樹、柳田烈伸5人の作品とともに、工房まるのこれまでの歩みをご紹介します。

熊本市現代美術館学芸員 蔵庄江美

作品を創る
×
場を作る
= 仕事になる

熊本市現代美術館

CONTEMPORARY ART MUSEUM, KUMAMOTO - CAMK -

〒860-0845 熊本市上通町2番3号 Tel:096-278-7500 Fax:096-359-7892

<http://www.camk.or.jp>

Design by コーダ・ヨコ

